

## NYマーケットレポート（2014年3月18日）

昨夜の外国為替市場は、ウクライナ情勢への警戒感から安全資産とされる円を買う動きが先行したものの、ロシアのプーチン大統領の議会演説で、ウクライナのさらなる分裂を目指していないと言明したことを受けて、ロシアによる軍事行動への懸念がやや後退したとの見方から、欧州市場では円を売る動きが加速する場面もありました。しかし、NY市場に入ると、プーチン大統領がクリミア併合は妥当との強い意志を示したことや、欧米が追加制裁を科すと警告していることを背景に、ウクライナ情勢の緊張は続くとの思惑から、再び円を買う動きが強まりました。また、ロシアが次にロシア系住民の多いウクライナの東部の一部地域の併合に動くのではないかと懸念や、クリミアでウクライナとロシアの衝突が激化しているとの報道が流れとこともドル円・クロス円の圧迫要因となりました。その後、円買いが一服すると、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は値を戻す動きも見られましたが、終盤には上値の重い動きとなりました。

## 2014/3/18 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.64	101.95	101.54
EUR/JPY	141.44	141.96	141.32
GBP/JPY	168.76	169.61	168.76
AUD/JPY	92.24	92.81	92.09
EUR/USD	1.3917	1.3938	1.3912

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.79	101.32
EUR/JPY	141.86	140.76
GBP/JPY	169.16	168.13
AUD/JPY	92.57	91.92
EUR/USD	1.3943	1.3890

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14411.27	+133.60
ハンセン指数	21583.50	+109.55
上海総合	2025.20	+1.52
韓国総合指数	1940.21	+12.68
豪ASX200	5344.56	+27.00
インドSENSEX指数	21832.61	+22.81
シンガポールST指数	3093.84	+1.70

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	66.05.28	+36.93
仏CAC40	4313.26	+41.30
独DAX	9242.55	+61.66
ST欧州600	327.93	+2.10
西IBEX35指数	10051.40	+76.40
伊FTSE MIB指数	21038.03	+176.19
南ア 全株指数	47059.19	+242.54

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.42	101.75	101.29
EUR/JPY	141.29	141.77	140.80
GBP/JPY	168.23	169.22	167.78
AUD/JPY	92.56	92.81	92.32
NZD/JPY	87.39	87.69	87.30
EUR/USD	1.3933	1.3936	1.3880
AUD/USD	0.9127	0.9136	0.9092

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16336.19	+88.97
S&P500	1872.25	+13.42
NASDAQ	4333.31	+53.36
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14368.92	+137.03
ボルサ指数	38814.69	+863.72
ボベスパ指数	46150.96	+1033.16

### 3/19 経済指標スケジュール

08:30	【豪】2月ウエストバック先行指数
08:50	【日】2月貿易収支
09:00	【豪】2月DEWRインターネット求人指数
13:00	【日】2月首都圏新規マンション発売
13:30	【日】1月全産業活動指数
14:00	【日】1月景気先行CI指数・景気一致CI指数
14:30	【日】2月全国百貨店売上高
17:00	【南ア】2月消費者物価指数
18:30	【英】英中銀議事録
18:30	【英】1月ILO失業率[四半期]
18:30	【英】2月失業者数推移
19:00	【欧】1月建設支出
19:00	【スイス】3月ZEW景況感調査
20:00	【米】1月MBA住宅ローン申請指数
20:00	【南ア】1月実質小売売上高
21:30	【カナダ】1月卸売売上高
21:30	【米】4Q経常収支
22:00	【ポーランド】2月生産者物価指数
22:00	【ポーランド】2月鉱工業生産販売
03:00	【米】FOMC金融政策利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1359.00	-13.90
NY 原油	99.70	+1.62
CME コーン	486.25	+7.25
CBOT 大豆	1418.25	+26.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.35%	0.36%
3年債	0.75%	0.77%
5年債	1.54%	1.57%
7年債	2.15%	2.17%
10年債	2.67%	2.69%
30年債	3.61%	3.63%

### 3/19 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁講演
- ・イエレンFRB議長 定例会見

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.70    ユーロ/円 140.68    ユーロ/ドル 1.3932

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6589.17	+20.82	ダウ INDEX FUTURE	16220	+54
仏 CAC40	4314.79	+42.83	S&P500 FUTURE	1856.80	+6.10
独 DAX	9238.49	+57.60	NASDAQ FUTURE	3662.25	+10.75

(出所: SBILM)

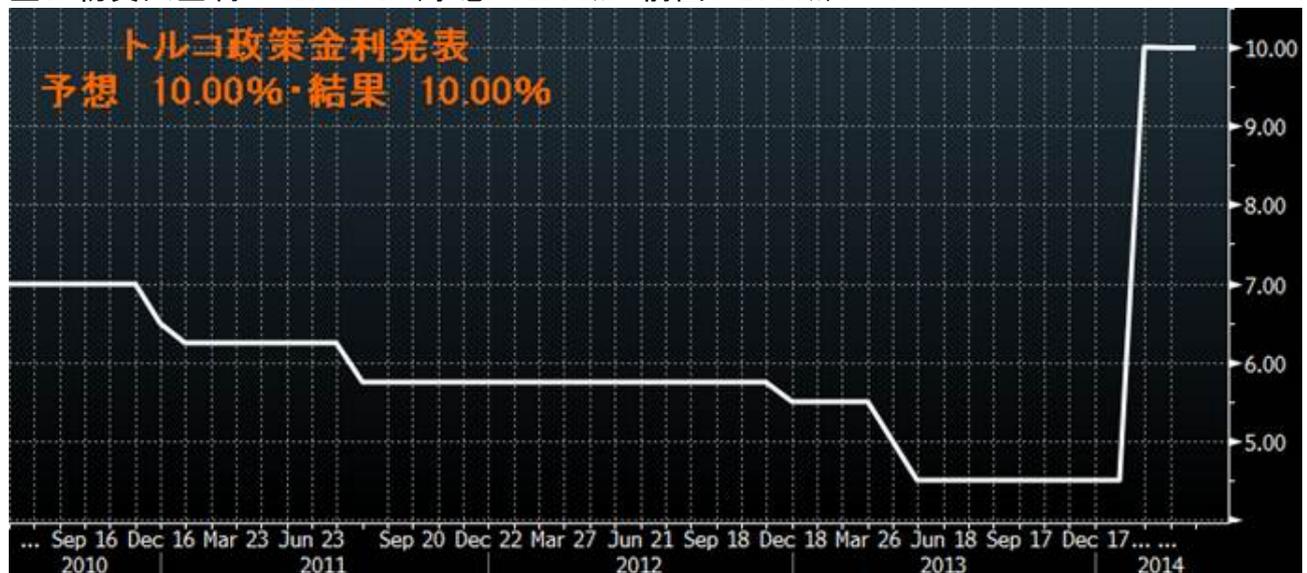
21:00

### 《 経済指標の結果 》

トルコ政策金利発表 10.00% (予想 10.00%・前回 10.00%)

翌日物貸出金利 12.00% (予想 12.00%・前回 12.00%)

翌日物買入金利 8.00% (予想 8.00%・前回 8.00%)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

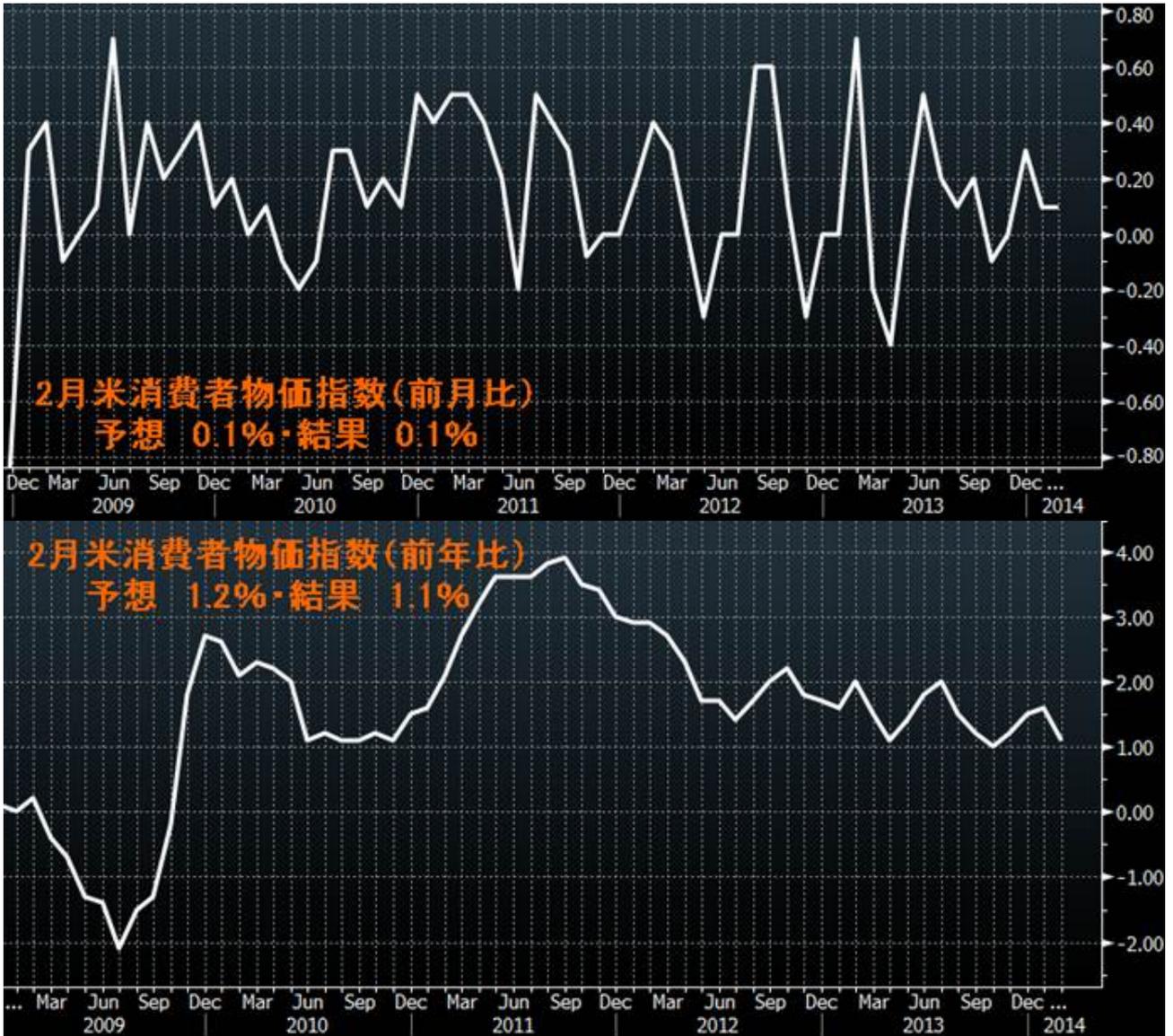
◀ 経済指標の結果 ▶

2月米消費者物価指数(前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)

2月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)

2月米消費者物価指数(前年比) 1.1% (予想 1.2%・前回 1.6%)

2月米消費者物価指数[コア] 1.6% (予想 1.6%・前回 1.6%)



(出所:ブルームバーグ)

## 指標結果データ

### 《消費者物価指数》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
全品目	0.1	0.1	0.2	0.0	-0.1	0.2
除く食品・エネルギー	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1
エネルギー	-0.5	0.6	1.6	-0.4	-0.9	0.3
サービス	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3
食品・飲料	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
居住費	0.2	0.4	0.2	0.2	0.1	0.3

21 : 30

### 《 経済指標の結果 》

2月米住宅着工件数（前月比） 90.7万件（予想 91.0万件・前回 90.9万件）前回発表の88.0万件から90.9万件に修正

2月米住宅着工件数（前月比） -0.2%（予想 3.4%・前回 -11.2%）前回発表の-16.0%から-11.2%に修正

2月米建設許可件数 101.8万件（予想 96.0万件・前回 94.5万件）前回発表の93.7万件から94.5万件に修正

2月米建設許可件数（前月比） 7.7%（予想 1.6%・前回 -4.6%）前回発表の-5.4%から-4.6%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

2月・・1月・・12月・・11月・・10月・・9月

住宅着工件数・・・90.7・・90.9・・102.4・・110.1・・89.9・・87.3

一戸建て住宅・・・58.3・・58.1・・66.9・・71.3・・60.0・・58.0

集合住宅・・・・・32.4・・32.8・・35.5・・38.8・・29.9・・29.3

許可件数・・・・・101.8・・94.5・・99.1・・101.7・・103.9・・97.4

一戸建て住宅・・・58.8・・59.9・・61.0・・64.1・・62.1・・61.5

集合住宅・・・・・43.0・・34.6・・38.1・・37.6・・41.8・・35.9

前月比 (%)

住宅着工・・・・・-0.2・・-11.2・・-7.0・・22.5・・3.0・・-1.1

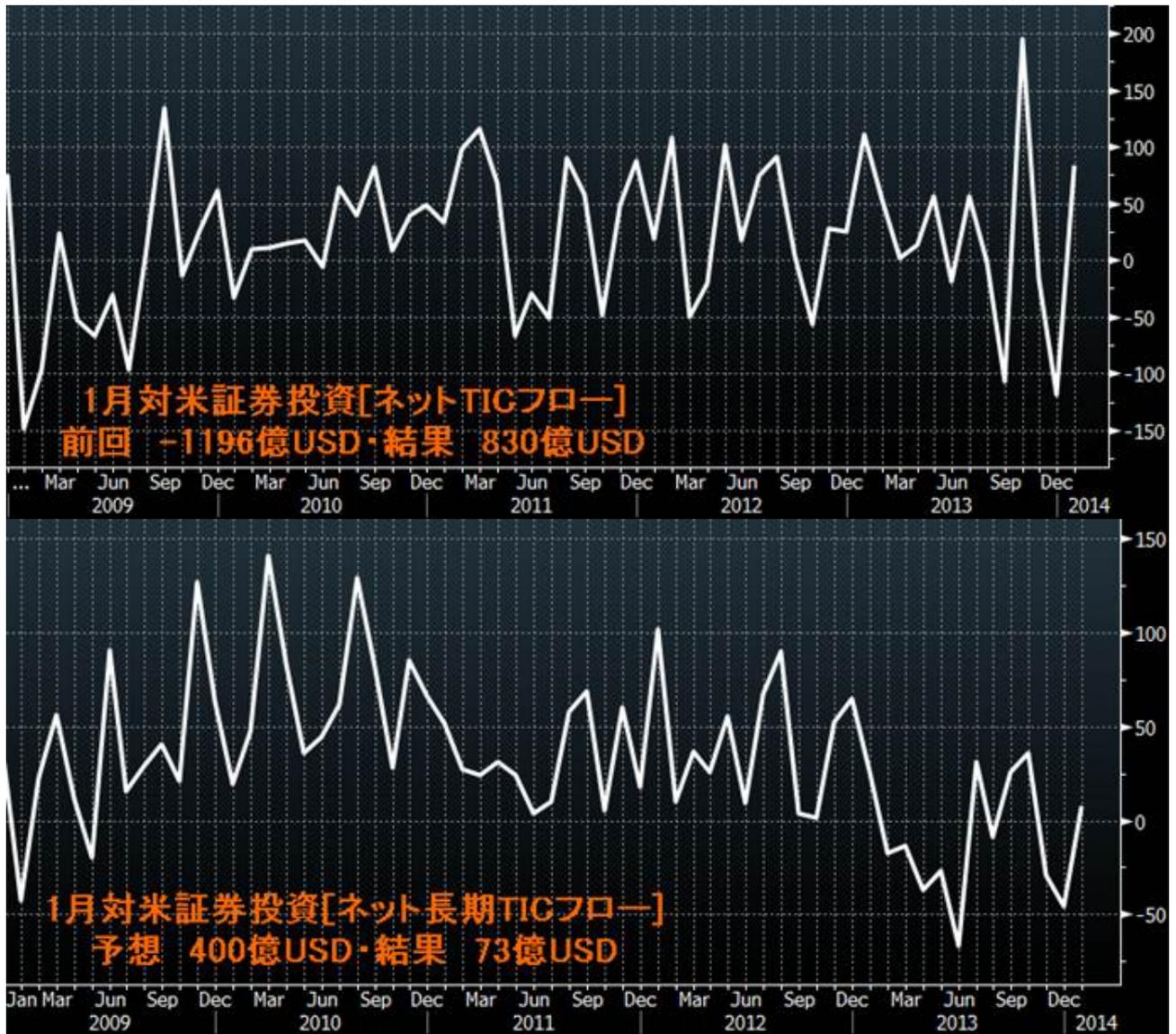
住宅建設許可・・・7.7・・-4.6・・-2.6・・-2.1・・6.7・・5.2

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月対米証券投資[ネット TIC フロー] 830 億 USD (前回 -1196 億 USD) 前回発表の  
-1196 億 USD から-1267 億 USD に修正

1月対米証券投資[ネット長期 TIC フロー] 73 億 USD(予想 400 億 USD・前回 -459USD)



(出所:ブルームバーグ)

### 《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、ロシアのプーチン大統領がクリミア自治共和国の編入を宣言したことを受け、ウクライナ情勢緊迫化への懸念から比較的安全な通貨とされる円を買い、ドルを売る動きが優勢となった。

22 : 33

#### 米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16278.36	+31.14
ナスダック	4286.04	+6.09

(出所: SBILM)

22 : 55

#### 米ホワイトハウス

- ・「G7 首脳は、来週のハーグで開催される核安全保障サミットの際にウクライナ問題を協議」
- ・「G7 協議は、ウクライナ情勢への対応と支援に関する追加策が焦点」

23 : 30

### 《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、ウクライナ情勢への警戒感は続いているものの、ロシアによる軍事行動への懸念はやや後退しているとの見方から、主要株価は堅調な動きとなっている。また、米経済指標が堅調だったことも好感され、買いが優勢となっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比 115 ドル高まで上昇する動きとなっている。

### 《 経済指標のポイント 》

(1) 2月の米消費者物価指数は、前月比+0.4%となり4ヵ月連続でプラスとなった。食品価格が上がる一方で、エネルギー価格が下落した。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数も前月比+0.1%となった。前年同月比は、総合指数が+1.1%、コア指数は+1.6%となった。

①品目別では、食品が+0.4%。魚類や肉類、乳製品、野菜・果物も上昇に転じた。

②エネルギーは-0.5%。燃油、天然ガスは値上がりしたものの、ガソリンの大きな値下がりによりマイナスとなった。

(2) 2月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-0.2%の90.7万件となり、3ヵ月連続でマイナスとなった。前年同月比では-6.4%となった。また、着工件数の先行指標となる建設許可件数は前月比+7.7%の101.8万件と、2013年4月以来の大きな伸び率となった。減少傾向が続いていたが、4ヵ月ぶりにプラスに転じた。前年同月比は+6.9%。

①着工件数では、主力の一戸建て住宅は+0.3%の58.3万件、それ以外の集合住宅は-1.2%の32.4万件。

②地域別では、北東部が-37.5%、西部が-5.5%となった一方、中西部は+34.5%、南部は+7.3%となった。

(3) 1月の米国国際資本統計によると、米国勢の海外投資を差し引いた長期有価証券による資本取引は-25億ドルとなり、3ヵ月連続でマイナスとなった。うち債券の元本返済や株式スワップなどの市場取引を介さない資本移動を除くと+73億ドルとなった。

対米長期証券投資は-148億ドル。海外の民間投資家による米有価証券投資は18億ドルの買い越しだった。内訳は、米国債が161億ドルの買い越しとなる一方、株式は54億ドル、連邦住宅貸付抵当公社などが発行する政府機関債は45億ドル、社債は44億ドルの売り越しだった。公的部門は有価証券全体で165億ドルの売り越しだった。米国債が167億ドル、株式が4億ドルの売り越しだった一方で、政府機関債は5億ドルの買い越し、社債は横ばいだった。

米国勢による海外証券投資は+220億ドルと7ヵ月ぶりに増加した。月末時点の国別の米国債保有残高は中国が前月比+136億ドルの1兆2836億ドル。日本は前月比+2億ドルの1兆1823億ドルと2ヵ月連続のマイナスとなった。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16337.16 (+89.94)、S&P500 1867.87 (+9.04) ナスダック 4322.04 (+42.09)

#### 《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、ウクライナ情勢緊迫化への警戒感から逃避買いが入る半面、ロシアのプーチン大統領の議会演説を受けて、ロシアがウクライナ東部などへ軍事侵攻するとの懸念が後退して売られる場面もあり、もみ合いの展開が続いている。また、FOMCを控えて様子見ムードも強かった。

午前の利回りは、30年債が3.62%（前日3.63%）、10年債が2.68%（2.69%）、7年債が2.16%（2.18%）、5年債が1.55%（1.57%）、3年債が0.76%（0.77%）、2年債が0.35%（0.36%）。

#### 《 ポイント 》

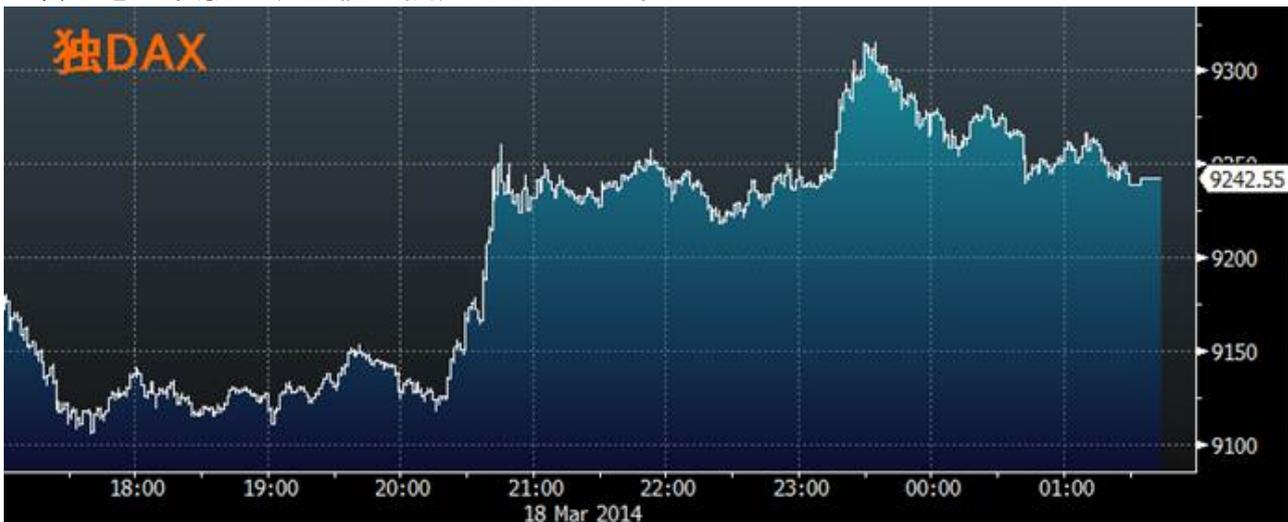
今週のFOMCでは、月額債券購入額を100億ドル（約1兆200億円）縮小して550億ドルとし、10月会合で購入終了を宣言するまで毎回の会合で同じペースで縮小を続けるとの見方が出ている。過去2回の会合では月額購入額を毎回100億ドルずつ減らしている。また、声明では、これまで政策金利変更の目安としていた失業率6.5%に替えて、金融政策をより広範にわたる経済統計と連動させる質的なガイダンスを示す可能性も考えられる。しかし、その一方で目安の変更はないとの見方や、ガイダンスそのものを撤廃するとの見方もある。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6605.28	+36.93
仏 CAC40	4313.26	+41.30
独 DAX	9242.55	+61.66
ストック欧州 600 指数	327.93	+2.10
ユーロファースト 300 指数	1306.11	+8.66
スペイン IBEX35 指数	10051.40	+76.40
イタリア FTSE MIB 指数	21038.03	+176.19
南ア アフリカ全株指数	47059.19	+242.54

(出所: SBILM)

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ロシアのプーチン大統領の議会演説を受けロシアの軍事行動への懸念がやや後退したこと見方から、主要株価は続伸となった。ただ、ウクライナ情勢の先行き警戒感も根強く、上値は限定的となった。



(出所: ブルームバーグ)

### 《欧州のポイント》

①ギリシャが4年ぶりの国債入札を5月までに実施する可能性を社会基盤相が挙げた。国際社会から救済を受けたギリシャは財政の立て直しを目指している。社会基盤相は、国債発行は5月の欧州議会選挙を前にした一連のポジティブな展開の一部となるだろうと発言。「次回融資分を得てギリシャは市場に復帰、利回りはやや高くなるだろうが、その後には低下。そしてギリシャがトロイカ審査を四半期ごとに受ける状況は終わる」とのシナリオを付け加えた。

②ZEW（ドイツの欧州経済センター）が発表した3月の独ZEW景気期待指数は46.6となり、2月の55.7から低下し、2013年8月以来の低水準となった。ウクライナ危機への懸念が要因となった。現況指数は51.3で、2月の50.0から上昇した。今年初めの新興国市場の動揺とウクライナ情勢をめぐるロシアと西側諸国の対立がドイツの投資

環境に多少悪影響を与える可能性が懸念されているが、ウクライナ危機が今よりも数段深刻にならない限り、ドイツやユーロ圏の景気回復が頓挫するような状況にはならないと指摘されている。

③スペインのデギンドス経済相は、第1・四半期の指標はまだ出そろっていないが、政府としては経済が引き続き堅調となり、少なくとも前四半期と同じ成長率になると予想していると述べた。スペインの昨年第4・四半期 GDP 伸び率は前四半期比 0.2% となり、2 四半期連続のプラスとなっている。

④EU 統計局が発表した1月のユーロ圏貿易収支は、季節調整前で9億ユーロ(12億5000万ドル)の黒字となり、予想の120億ユーロを大幅に下回った。前年1月は54億ユーロの赤字だった。輸入が前年同月比-3%した一方で、輸出の伸びが1%にとどまったため、予想を下回る黒字幅となった。域内の輸出は依然としてまだら模様で、南欧など周縁国は引き続き輸出を拡大している。国別の輸出は、ギリシャが前月比+17.2%と大きな伸びとなり、スペインも+1.7%となった。中核国では、ドイツの輸出は+1.2%となったが、フランスは-0.6%、イタリアも-0.2%となった。

⑤ドイツ憲法裁判所は、ESM(欧州安定メカニズム)は合憲だとの判断を示し、ESMの批准を認めた2012年の判断を維持した。憲法裁は、連邦議会下院がESMに対する十分な監視機能を持つ限り、ESMは下院の予算に関する決定権限を侵害していないと強調。憲法裁は、ESMに対するドイツの負担金は1900億ユーロに制限され、これを超える場合には下院による承認が必要となる措置が取られていると指摘した。憲法裁に対しては、3万5000人超に上る原告がESMはドイツからEUに不法に主権を移管するものだと訴えていた。

3:30

NY金は、中心限月が前日比13.90ドル安の1オンス=1359.00ドルで取引を終了した。

4:15

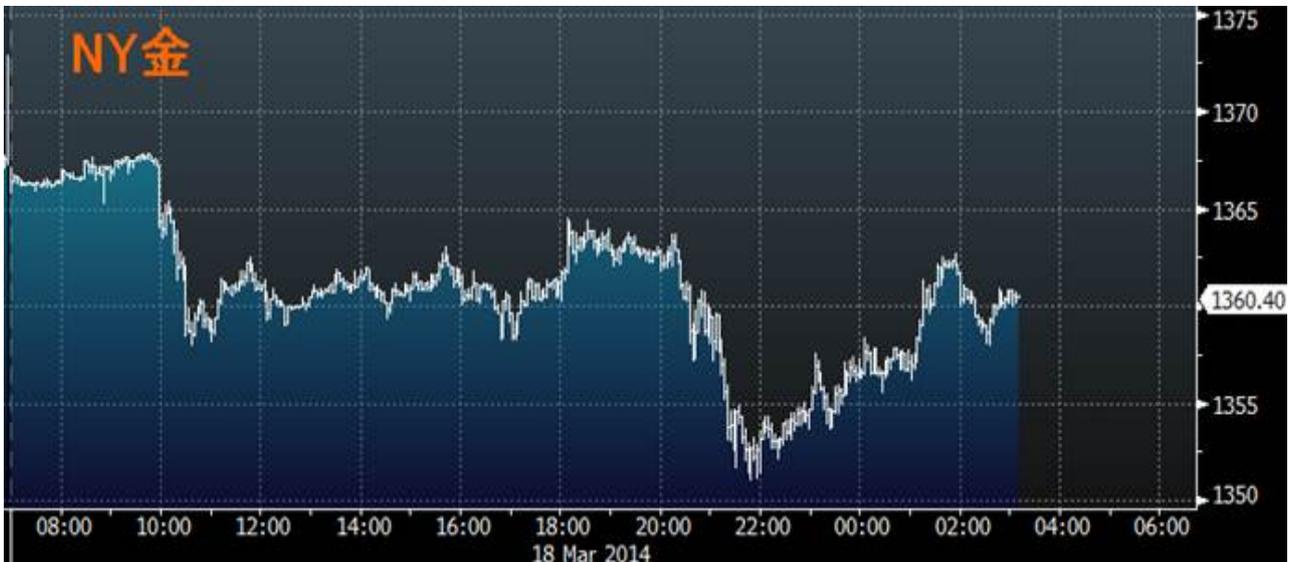
NY原油は、中心限月が前日比1.62ドル高の1バレル=99.70ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1359.00	-13.90
NY 原油	99.70	+1.62

(出所: SBILM)

### 《 NY 金市場 》

NY 金は、ウクライナ情勢をめぐる緊張が緩和するとの見方から、比較的安全な資産とされる金の需要が弱まり、売りが先行した。また、FOMC で量的緩和の縮小継続を決めるとの観測も圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

### 《 NY 原油市場 》

NY 原油は、欧米の株価上昇を背景に投資家にリスク志向の動きから買いが先行した。ただ、19 日の米石油在庫統計で原油在庫の増加が見込まれていることから、やや上値の重い動きも見られた。



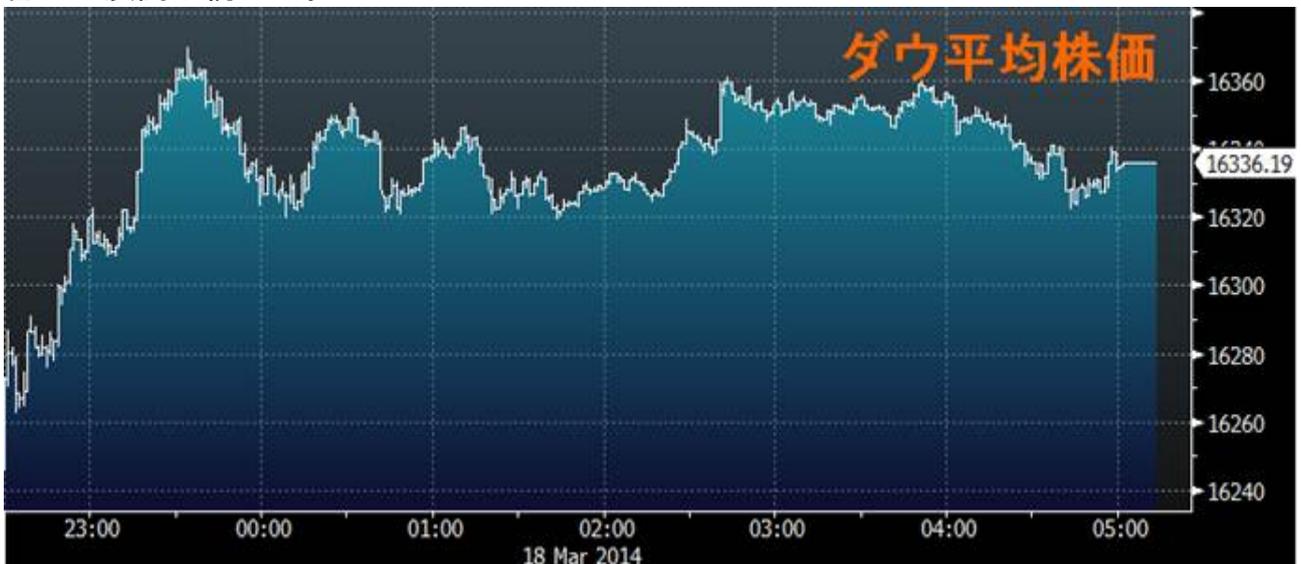
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16336.19	+88.97	16369.94	16245.93
S&P500 種	1872.25	+13.42	1873.76	1858.92
ナスダック	4333.31	+53.36	4334.66	4284.11

(出所: SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、ウクライナ情勢への警戒感は続いているものの、ロシアによる軍事行動への懸念はやや後退しているとの見方から、主要株価は堅調な動きとなった。また、米経済指標が堅調だったことも支援材料となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で122ドル高まで上昇する場面もあった。その後は高値圏でのみみ合いの展開が続いた。



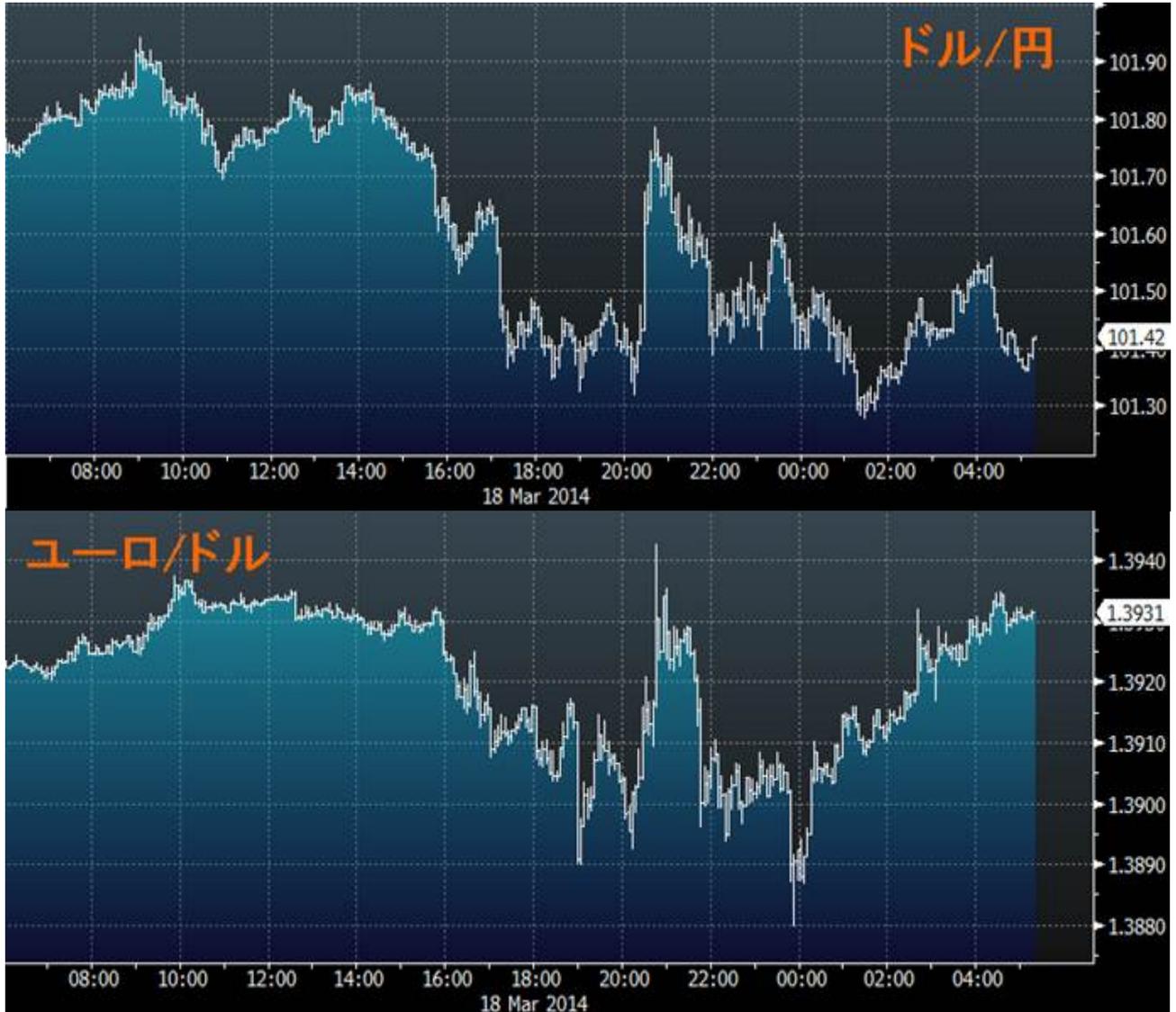
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.42	101.75	101.29
EUR/JPY	141.29	141.77	140.80
GBP/JPY	168.23	169.22	167.78
AUD/JPY	92.56	92.81	92.32
NZD/JPY	87.39	87.69	87.30
EUR/USD	1.3933	1.3936	1.3880
AUD/USD	0.9127	0.9136	0.9092

(出所: SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、直前の欧州市場でロシアによる軍事行動への懸念がやや後退するとの思惑から、ドル円・クロス円が上昇したものの、ウクライナ情勢への警戒感は広がっているとの見方から円を買い戻す動きが優勢となった。そのため、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、終盤には堅調な株価動向を背景に、値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。